

おれんじニュース

No294

2014年9月号



8月7日、立山縦走10日ぶりの晴天の別山分岐

今月の記事	労山会員証の更新・平和学習・普賢岳、妙見岳周回地図読み登山・岩屋山・松尾岳、行仙岳、矢上普賢岳・立山縦走・県連沢登り・個人山行・新しい仲間
-------	---

★山行の一步は集会参加から★

	2014年9月	2014年10月	時間	場所
運営委員会	9日(火)	7日(火)	13:30~16:00	西諫早公民館
全体集会	24日(水)	22日(水)	19:00~21:30	

10月は第一と第三の週です。まちがえないように！。

ある晴れた日に雲仙にいきました。



アカショウマ



ホタルブクロ



ヤマアジサイ



ヤマジノホトトギス

里山探訪

7月27日
里山をたずねて歩きました。
矢上普賢と行仙岳
歩いた後にはスイカの御褒美！





2014 / 9月の山行

部	自然保護部	技術研修部	山行部	ひまわり
月/日(曜)	9/7(日)	9/13(土)~15(月)	9/23(火)	9/26(金)
山名(行事)	烽火山(426m)	石鎚山(1982m)	桂木山(702m)	矢岳/絹笠山
地 図	長崎	石鎚山・瓶ヶ森	山口県美祢	雲仙
集 合 場 所	西諫早駅 9:00	諫早駅裏 17:30 西諫早駅 17:40	諫早駅裏 6:00 西諫早駅 6:10	西諫早駅 8:00
難 易 度	初級	初級、中級	初級	初級
帰着時間	15:00	15日 23:50	19:00	17:00
歩行時間	4.0h	14日 5.0~6.0h	4.0h	4.0h
交通手段	JR & 市電	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	日帰り	1泊フェリ- 大歩危祖谷阿波の抄	日帰り	日帰り
温 泉	なし	有り	有り	有り
参 加 費	1,200円	30,000円	5,000円	1,000円
申 込 期 限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	随時
集 約	中里	佐原	高森	金丸
備 考	シーボルト宅跡や妙相寺など烽火山の道筋の史跡なども訪ねます。	西日本最高峰の石鎚山に登ります。出来たら天狗峰もそして次の日は祖谷のかずら橋も行く予定です	秋吉台の北側にある三角形の先鋒。山腹に修験道の跡という白糸の滝がある。	雲仙の自然を楽しみながらゆっくり歩き頂上へ。山頂からの展望も素晴らしい。帰りは温泉で心身のリフレッシュ。
感想文提出	9/14	9/22	10/1	10/5



9/27,28(土日)	中央登山学校九州校(阿蘇) : 8/28 締切 全国ハイキング交流集会(岐阜) : 2名参加(あゆみ)
10/05(日)	いつだって花盛り in 県民の森 : 9/25 締切 オリエンテーリング、散策、交流鍋
10/11,12(土日)	第17回全国登山者自然保護集会(静岡) : 1名参加(あゆみ)
10/18,19(土日)	県連登山フェスタ(金泉寺) : 9/30 締切 講演、交流会、登山(経ヶ岳, 五家原)、レスキュー

*2015年度 労山カレンダー オレンジは10本予約しました。



2014 / 10月の山

部	技術研修部	自然保護部	ひまわり山行部	山行部
月/日(曜)	10/4(土)	10/13(月・祝)	10/10(金)	10/25(土)・26(日)
山名(行事)	四王寺山	飯盛・ポテトの丘	金比羅山(長崎)	かたむきさん つづらお 傾山(九折れコース)
地 図	太宰府	諫早南部 長崎東北部	長崎東北部 長崎東南部	小原・見立
集合場所	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10	西諫早駅 8:30	JR諫早駅 8:10 JR西諫早 8:14	西諫早駅 7:00
難易度	初級	初級	初級	中級健脚
帰着時間	17:30	16:00	16:00	26日 20:30
歩行時間	4h	2.0~3.0h	2.5h	8h
交通手段	マイクロバス	マイカー	公共交通機関	マイカー or ジャンボタクシー
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	テント or 山小屋
温泉	?	有り	無し	有り
参加費	5000円	1,000円	交通費のみ	10,000円
申込期限	定員になり次第	随時	随時	随時
集 約	佐原	中里	金丸	高森
備 考	いにしへの太宰府政庁跡から歩きます。 北の大野城のある丘陵は県民の森として整備されています。	気持ちの良い丘を歩きます。じゃいもの花が咲いていて海岸を眺めて楽しくピクニックしましょ	知る人ぞ知る。ダンギクの群生地がありますよ	山名は山頂部が傾いて見える事からと言われる。体力、技術両方を求められます。
感想文提出	10/14	10/23	10/20	11/6



沢登り

夏は涼しい沢登りをしましょう。

オレンジ主催沢渡渉：8/30(土) 8:30 JR西諫早駅集合

オレンジ実力養成講座

週一のロッククライミングに挑戦しよう

年間2~3回 テント生活経験で生き抜く知恵と力を！

10月25日(土) セルフレスキュー 西諫早駅 9:30

7月23日(水) 平和学習会

戦後 69 年。長崎では夏が来ると平和行進、平和登山、被爆遺構めぐり、から始まる。これ
まで戦争といえれば世界のどこかで起きている悲惨な出来事だった。

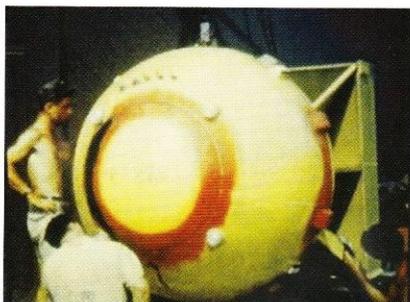
だが、集団的自衛権が閣議決定され戦争は過去でもなく遠くでもないような気がする。

今回は自ら被爆者で小中学校への平和語り部としての顔をお持ちのオレンジのメンバーである中野さんに原子爆弾について大変分かり易く教えていただいた。パワーポイントを使い、小さいゴムボールまで持ち出されて

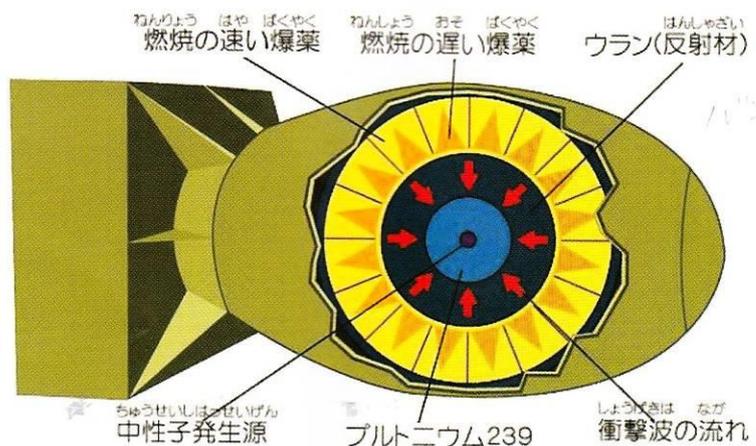


実際に長崎に投下された原子爆弾の威力と構造、そして現在、世界で所有している核の数、約(17300)、原子爆弾を所有してる国の数、約(9)など興味深い話題を豊富に語っていただいた。

げんし ぼくだん
原子爆弾
ながさきがた げんしぼくだん
長崎型原子爆弾
ファットマン

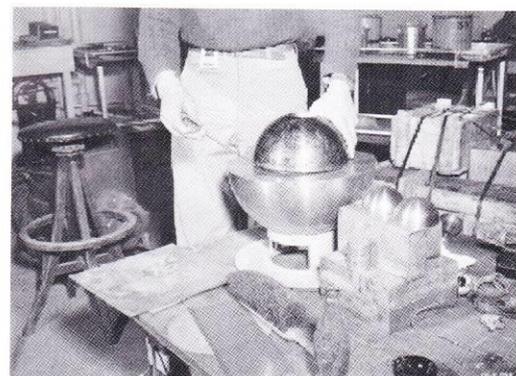


B29に積み込まれる直前のファットマン



長崎型の原子爆弾はプルトニウムの核分裂を応用して作られています。プルトニウムの周囲に配置した2種類の爆薬の作用により、プルトニウムが均等に押しつぶされると中央の中性子源から中性子が飛び出します。これがプルトニウムの原子核とぶつかって核分裂の連鎖反応が始まり、膨大なエネルギーが発生します。

重量	4.670 kg
全長	3.66 m
最大直径	1.52 m
中心核	プルトニウム 6.2 kg
中性子反射器	天然ウラン(ウラン ²³⁸ U)
中性子発生源	ベリリウム-ポロニウム
信管	接地式、対地距離レーザー式
爆発力	TNT換算 22 ± 2 キロトン



「小学生のための長崎平和学習ナビ」より

▲▲3：労山会員証を更新します(労山本部からの連絡、各会事務局取りまとめ)

今年の年末（2014年12月31日）で有効期限が切れる労山会員証（JWAF Membership Card）をお持ちの方も多いと思います。これについて、一括更新発行実施します。

11月各加盟団体に新しいカードを送付

※期限切れのカードは各団体に廃棄処分してください

※新入会された方のカード期限は2014年12月31日より先の日付になっていますが、これも一括して更新します。まだ有効期限が残っているカードは、各団体に回収し、廃棄してください。

2014年7月/8月の山行報告



7月19日（土）

普賢岳・妙見岳周回地図読み登山

（参加者） 鎗水、兵庫、田中(静)、川内、山口、松田、中須賀、金丸(勝)、金丸(直)、高森、佐原、田村、林(孝) 13名

（行程） 西諫早駅 7:00～仁田峠 8:30～普賢神社入口 8:35～あざみ谷 9:25～紅葉茶屋 10:05～新道分かれ 10:25～西の風穴～北の風穴 10:45～山車 11:00～鳩穴分かれ 11:10～立岩の峰で昼食 11:25～12:00～霧氷沢分かれ 12:15～普賢岳山頂 12:40～紅葉茶屋 13:15～妙見神社 14:00～仁田峠 14:35～温泉後解散 15:40

（感想） 何度登っても感動する普賢岳！梅雨明け間近の蒸し暑い下界を離れ、涼を求めて登ってきた。しかし、今日は計画通りの地図読み登山。

リーダーN氏の地図指導にける熱心な思いが伝わってきた。仁田峠駐車場で早速GPSとコンパスで地図確認！私も今日は、より理解を深めたいと頑張った。仁田峠駐車場を出発8:30。天気晴れ時々曇り、普賢神社入口から登山開始。各所で地図とコンパス、GPSの確認。実際に分岐点でコンパスが活用できて嬉しかった。しかし、「それでこれが何度傾いてるのか？」とかなると、もうわからなくなる(>_<)今後も理解していきたいと思う。



道中の花々を見ながらの歩きは楽しい！珍しい白いホタルブクロが、淡いピンクのシモツケも可愛らしかった。シシウドの多さが目立った。六月の花のヤマボウシも、まだ所々に残っていた。新道に入り、風穴からの冷気が、汗をかいた体には気持ち良かった。登山道の両脇にはヤマアジサイが咲き乱れずっと続いていて、まさしくそこは紫陽花ロードだった。微



妙に違う青紫の心地よさに疲れが紛れる。他にも、ふわふわのショウマやホトトギスも見られた。急登を行くと前に荒々しい平成新山が現れた。立岩の峰に到着。しばらくしてガスが一瞬にして新山を覆う。様変わりする山の天気は怖い！しかし、そこで昼食を終えた頃にはガスも晴れ、また、地図とコンパスと合わせ普賢岳を目指す。やっと頂上だ！先客の若者二人に、平成新山をバックに集合写真を撮ってもらう。皆さんご満悦。帰路の紅葉茶屋までの急な下りは容易ではなかった。気を

引き締めて下る。分岐で、あざみ谷コースと妙見神社コースに分かれる。私は妙見神社コースへ。しかし紅葉茶屋から国見分岐までの急登は何度経験しても辛い。妙見神社に着くとホッとした。また仁田峠の下りには、ウツボグサが、あちこちに見られた。今日は地図とコンパスの習得や花を楽しめて有意義な一日だった。全員が無事に仁田峠駐車場に揃い温泉で疲れをいやし帰路に着く 15:40。皆様お世話になりました。 (金丸直美 記)

(感想2) ゆっくり組

(行程) 西諫早駅 7:00—仁田峠 8:20—登山口 8:30—あざみ谷 9:00—紅葉茶屋 9:30—新道分岐—風穴—普賢頂上 11:30—紅葉茶屋—あざみ谷—仁田峠—温泉{小地獄}



風穴にて涼を感じる。

と思っていた。最近山の花は踏まれても、おられても、めげずに(人見るもよし、見ざるもよし、我は咲くなり)と咲いているように見え、華やかさはありませんが素朴にたくましく咲いている花を見ると元気が出ます。岩の側面に樹木が根を張り 横に伸び風車のようにきれいに根を張り、植物の生命力、たくましさを感じました。

普賢岳はいつ来ても 何回来てもいいな—と思います。自然の中では人は安らぎを感じます。楽しい一日でした。小地獄の温泉に入って、汗を流し解散 車を運転してくださった方お疲れ様でした。皆さんお世話になりました。 (林 孝子記)

立山・七人のやまたび



お祓堂でなむなむなむ



なんとかのたかのぼり



みくりが池

♡ 型の雪溪が見える

立山・花また花のたび



ツガザクラ



トウヤクリンドウ



イワツメクサ



エゾシオガマ



カンチコウゾリナ



コイワカガミ



シラネセンキュウ



タカネツメクサとチシマギキョウ



タカネツメクサとミヤマキンバイ



タテヤマフウロ



ハクサンイチゲとショウジョバカマ



チングルマ



咲き終わったチングルマ



ヨツバシオガマとオンタデ

7月25日(金)

岩屋山

(参加者) 小山 佐藤 兵庫 山下(ち) 金丸 吉川 (6名)

(行程) 西諫早駅 8:24 J R 一道の尾駅—岩屋神社正面鳥居 9:10—岩屋山登山口 9:45—岩屋神社 10:06—岩屋山頂上 11:20—下山開始 11:30(二手に分かれる)—上浦バス停 13:38—長崎駅 14:30

(感想) 今日は地元の山 岩屋山に挑戦です。岩屋山は小学校の遠足以来 45 年ぶり

当時小学校の遠足といえば金比羅山、稲佐山、岩屋山この3つの山をローテーションで登っていた。岩屋山はとりわけ「きつかった」という記憶がある。さて大人になった今日の岩屋山は如何なものか・・・期待が増す。



8:57 J R 道の尾駅にて皆さんと合流 小雨まじりの中、岩屋神社を目指す。岩屋中を過ぎた頃雨脚がひどくなり全員傘を差しての歩行だが、お陰で涼しい。

長崎工業高校、虹ヶ丘病院を過ぎ虹ヶ丘小学校 この辺りは小山先生が幼少時代を過ごされた場所だそうだ。なつかしい思い出話を聞きながら岩屋神社に到着した。ここでお二人の方と合流して 9:50 出発 まず神社に参拝 今日の登山の無事をお願いします。



岩屋山、名前通り岩がゴロゴロ 足元が不安定の上に段差がはげしく一步一步腿を高く上げて登る。全くと言っていい程平坦な道はない。

雨も降ったり止んだり、その都度傘をさしたりたたんだりでも忙しい。

途中2度の休憩をとって 11:20 山頂に着いた。「あ～疲れた どっこいしょ」と山頂の岩に腰を下ろした途端突然の大雨に強風 佐藤さんの折りたたみ傘は何度も何度も

ラッパ傘に変身していた。

とりあえず木の下にて雨宿り 山頂でのお弁当などもってのほか。山頂滞在5分で別ルートでの下山。小江原か油木方面に下りる予定だ。迷いながら林道を進む。少し不安を覚えながら・・・いつしか雨は止んでいた。

途中遠くの方に海が見えてきた。「海が見える・・・」という事は小江原じゃない！ 油木じゃない！ 式見？「そう式見方面に出た」自分の居場所がはっきり分かりホッとす。

下の方には大きな道路も走り民家も見える。12:50 道の脇の方に腰をおろして昼食。

トンボの群れ、とんがった山、田んぼ のどかな景色とともに食がすすんだ。

13:20 出発 コンクリートの農道を歩いて下るとバス停発見と同時に長崎バスが走ってくる。間に合わないか・・・小走りになる。しかしバスはバス停を過ぎ手を揚げる私たちを無視して走り去ってしまった。「融通のきかんバスやね」と勝手な抗議 大人げなかったかな。



上浦というバス停で次のバスを待つ。13:57 乗車、14:30 長崎駅に到着そして解散した。

小山先生の万歩計で 12536 歩だった。

45 年ぶりの岩屋山。登りはやはり記憶のとおり「きつかった」が下りはなだらかで歩きやすかった。山は表と裏、ルートによって様々な顔を持っていると感じた。

色んなハプニングがありましたがとても楽しかったです。皆さんありがとうございました。

(吉川 記)

7月27日(日)

松尾岳・行仙岳・普賢岳

(参加者) 中里、野中、山口、柳迫、田村、松田、川内、間ノ瀬、兵庫、川原、福岡、金丸(勝)、
小山、一般協力(増永) (13名)

(感想) 梅雨明けはしたものの、毎日湿度が高く蒸し暑い日が続いている。当日は朝から雨が降りそうな空模様で降らない事を願いながら家をでた。野中氏の車に途中から同乗させてもらい登山口である教相寺墓地に着いた。もう何人か集まっておられた。

今日の山行は13名だ。準備体操をして8時40分現地を出発した。その頃には空にも太陽が顔を出し始め雨具も必要ないようだ。登りの道は地面に落ち葉がたくさん敷き詰められていて、それがクッションになり足の負担を小さくしてくれた。前後には仲間の話声が賑やかで、小鳥のさえずりにも耳を傾けながら登っていった。反射板のある普賢岳へと行く途中、地藏様



が何体か奉ってあり、結構大きな地藏様でここまで運んで来るのはたいへんな労力だったろうと思いながら手を合わせた。お供え物もしてあってお参りも定期的になされている様だ。

次に行仙岳の下りへと進んで行った。「これからの下りは急で、滑りやすいので注意してください」と、声かけがあり、用心しながらロープに捕まり慎重に、右、左と木の根元を見つけながら下っていった。雨続きで湿っていたので皆用心しながら一歩一

歩下りて行った。しばらく歩いていくと明るい山道に出てきた。五穀神社の近くの山道だった。そこで昼食をとることになり皆それぞれにお弁当を食べていると中里氏がリュックサックから大きなスイカをだされた。包丁も準備されていて皆にカットして食べさせて下さった。アップダウンがきつい所を担いで来られた事に驚かされた。皆、大喜びで感謝しながら甘くて、水分たっぷりのスイカを頂きました。すごく美味しかったです。有り難うございました。次は船石岳を目指す予定でしたが時間的にもハードになるし皆の体力の事も考え、次の山行に計画しようという事になり、スタート地点まで戻る事になった。穏やかな登りや、下りではあったが舗装されている道は足に結構疲れを感じた。しばらく歩くと山中の谷間に電化製品やトロ箱な

どが無造作に放棄されていた。自分勝手な行動に腹立たしく思った。身近な自然をもっと大事にして欲しいと話しながら下りて行った。14時20分教相寺墓地の登山口に到着した。ここから、風呂に行く人、家路に着く人と別れて解散となった。湿度が高くちょっときつい山行だったが、楽しく心安らぐ一日だった。山行計画を進行してくださった方々有り難うございました。
(柳迫 記)

(企画者の感想)

近郊の山 計画では、普賢岳 行仙岳 船石岳、松尾岳でしたが今回、普賢岳 行仙岳に。8時30分登山開始 結構アップダウンあり 3箇所急登あり普賢岳に10時20分頃到着。行仙岳11時頃。 行仙岳より船石岳登山口まで急斜面、 ロープあり怪我もなく

12時40分頃着く 昼食 林道周回して2時40分ごろ東町到着

オレンジ女性の会員健脚で元気でした

中里部長が氷でひやした大きなスイカ持参、美味しくいただきました。
(野中 記)

8月5日(火)~9日(土)

立山縦走

(雄山 3003m大汝山 3015m富士の折立て 2999m真砂岳 2860m別山 2874m)

(参加者) 中須賀、兵庫、川内、山口、高森、松田、山下(ち) (7名)

(行程) 5日/ 20:19=名鉄高速バス=

6日/ 7:14 名古屋=富山=立山=15:30 室堂・・17:20 一ノ越山荘着

7日/ 6:40 出発・・8:07 雄山・・9:05 大汝山・・9:36 富士の折立・・10:01 真砂岳(昼食)別山分岐・・12:13 別山・・別山乗越・16:40 雷鳥荘

8日/ 6:45 出発・・室堂=黒部ダム=扇沢=信濃大町=松本=名古屋

9日/ 7:10 諫早着

(感想) 今回の山行は台風12号と11号の間を縫った様に上手く晴れた立山を歩く事ができた。個人的な事情で一度はキャンセルした私だったが再び仲間に入りたと言ったら皆さん温かく迎えてくれた。往時はとにかくいっしょに名鉄夜行バスで眠る。やはりあまり眠れない。

室堂からの1時間余りの歩きに5,6カ所も雪渓を渡った。軽アイゼンを持って来てるしっかりさん(N氏、Yさん)もいた。アルプス初体験のMさんは風邪気味でもあり少し高山病の症状。少し戻したりしたけどすぐ元気になられた。救助係として、雪渓の歩き方をレクチャーしたりする。だれも滑らない。たいしたものである。皆さん私より先輩ばかり、「釈迦に説法」だった。

一ノ越山荘に着いたのは予定どおり。15号16号と部屋は男女別れてると思ったら中では一室になっていた。H氏は鼾を気にして壁にむけて休まれてた。何も聞こえずぐっ



すり眠った。ただ、夜中の風の音がものすごかった。きっと雨だろうと、朝窓を開けてみるとなんと晴れてるではありませんか！！明け方ご来光を拝みに行ったグループもあったがきれいな日の出を拝めたらしい。少し残念に思う。

我々は朝食をしっかり食べ、ストレッチをして 6:40 出発。滑りやすいじゃり小石のある急登だが、皆まだ元気についてくる。ペースはゆっくり。行程は歩行時間 3 割増しで記載されているがそれより遅かった。頂上の雄山神社でお祓いをしてもらいお神酒もいただいた。神主さんをどこかで見た感じがしたが、後で思い出した。TV で三浦豪太がガイドといっしょに登ってる番組でもこの神主さんだった。

大汝山はこの鳥居の横を思い切り下る。少しの尾根歩きで着いた。岩峰には希望者のみ。

少し岩登りの感じがうれしい。少し行きすぎると例の「春を背負って」の映画に使われていた避難小屋があった。中に入りたかったが遅れぎみなので先へ急ぐ事にする。

一ノ越山荘で真砂岳までコンパスを合わせてたのでひたすら北へ歩くと富士の折立に着いた。ここも少し岩登りで山頂には希望者のみ。

次の真砂岳は少し歩いたがだだっぴろい頂上だった。ここで少し早目の昼食と思ったら、今日、初めての雨がぱらぱらと降って来た。しかたなく、少し先へ進んでると鞍部にきたら雨も止み早目の弁当を食べた。

別山に着くと、それだとすぐ分かる剣岳が 10 日ぶりに全容をみせていた。あそこが蟹のタテバイかな？ヨコバイかな？と眺めてるうちに登りたくなった。全員揃ってその前で写真を撮った。

さて、ここからは最後の歩き。ほとんどが下り道。雷鳥荘に着いたら温泉とビールが待ってるよ！ってすれ違った登山者が言ってくれた。その言葉を楽しみにまずは横移動。そして剣御前についてオコジョがいたのでそれと戯れまた下り富山県警の新人研修の 80 名の剣登山者をすれ違いながら高度を落として行く。雷鳥平は見えてるのになかなか着かない。



沢近くになって下りの大雪渓あり！。今年は雪渓が多いらしい。夏道が旛をたててあるが大きなホールがあった。側も危ないのでかなり大廻りして下りて行く。後続がなかなか来ない。ビールと温泉の誘惑に負けて先に雷鳥荘へ急ぐ。ごめんなさい。Nさん、Hさん、Kさん。雷鳥荘はキャンプ地から思いっきり上にあって 30 分位コンクリートの階段を登らないといけなかった。本日の行程でここが一番つらかった。しかし、温泉は格別で、ビールの味は言うまでも無い！次の日は黒部の観光があるので夜も早く休んだ。アルペンルートを色んな乗り物で移動したのも初めてだったけど黒部ダムのは放水はさすが迫力があって今回の企画のすばらしさを感じた。また、私一人新幹線で帰るので皆さんが同情してくれてカンパまで考えてもらってつくづく温かい仲間だなあと実感した。N氏は彼のハンディのため交通費の半額になった分を皆にふるまってくれて一ノ越ではビールをおごってもらった。一足早く新幹線で帰ってみると動きの遅い台風 11 号がまだ四国辺りで被害をもたらしていた。幸い無事帰られた。7 人の侍たち・・・お世話になりました。
(山下ちず子記)

8月10日(日)

県連主催の沢登り実技

【参加者】松岡、間ノ瀬、田村、鎗水
【講師陣】進行責任者：川原(オレンジ)、川原(登山学校)／指導：浜崎(カルチャー)、柿木(あゆみ)各氏
【場所】黒木溪谷ウナギデ沢 9:00～15:00
【報告】各会からの参加者計 17 名。



台風 11 号は遠ざかり天気は回復しそうな雲行きであったが、やはり山間部では小雨模様。沢や滝でずぶ濡れになるのだから別に雨でも構わないが、日差しがないのは寒々と感じる。「安全で楽しい沢登りを目指して、最新の技術を習得し伝えていく」事を目的に、今回は例年と異なり、午前中沢登りでの安全確保や器具の使用法について実技訓練を行った。これは大変好評であった。筆者は特にルペルソの使い分けがはっきりしてすっきりした。また新しい道具も知る事が出来た。

午後から沢を遡上。2 名は最初の滝で引き返したが、他の参加者は最後の滝まで上りきった。国体の審判を務めるTさんも参加されたが、さすがにうまい。ともあれ全員無事で実技訓練を終えた。



(鎗水 記)

新しい仲間の紹介です。



大久保 ^{ひさふね} 瓢舟さん。諫早市内

8月より入会をお願い致しました、大久保です。

初心者ですので皆様にご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願ひします。会社務めの為、土日曜日の参加となりますが、合わせてお願ひいたします。



高田 純二さん。諫早市内

登山を始めて、2年になります。富士山に登ろうと計画して半年してからのぼりました。立山も行ったけどきつくて、自分の健康のためと身体を鍛えようと思ひ入会しました。よろしくお願ひします。

こちらこそ、よろしくおねがいします。



個人山行でーす！

8月14日(木)

滝に魅せられて

玖珠川の北に高塚地蔵尊があります。1200年前に行基が開いた霊験あらたかな地蔵尊で、県内外からの参詣者が多い。境内には樹齢1000年の樹木が茂る。オレンジ会員の健康と登山の安全を祈願してきました。それから、竹田の方に回り色々な滝を写真に収めてきました。深山は神が舞い降りる聖地、滝は神宿る聖域として崇められてきました。

自然を慈しみ、何も残さない、何も持ち帰らない、大切な思い出だけを心に！（野中 記）



桜滝



慈恩の滝



観音の滝



西椎尾の滝



白水堰



白水の滝(上段)



白水の滝(下段)



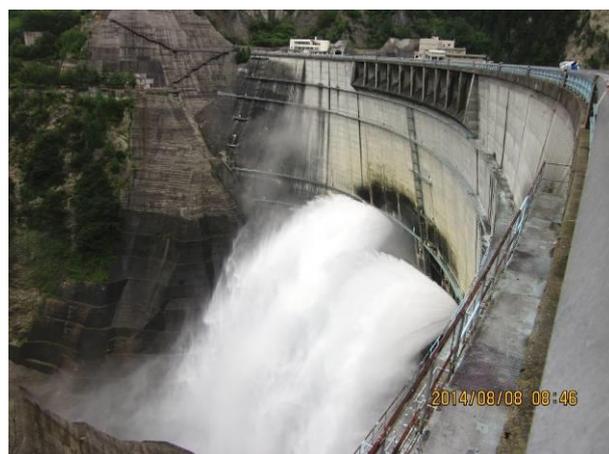
立山、最後の下り。大雪渓



室堂までの道チングルマ群生



朝まだ早い時間に黒部ダムについた。黒部湖は満々と水を貯えていて黒部ダムは勢いよくその水を放出していた。
写真提供・中須賀氏 高森さん



発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
9月号の編集責任者及び編集委員	山下ちず子 福岡正廣、鎗水律夫、中野美津子、山口いつ子、山下文代、林和子
発行年月日	2014.8.27
財政担当	田中静香
郵便振替口座	01820-6-43775 オレンジハイキングクラブ
ホームページ	http://orangehikingclub.com/

今年は雨の多い夏のようなです。そんな時期に晴れた立山の景色と高山植物の写真をお届けできるのを幸せに思います。特に最後の2ページはN氏の滝の写真や黒部ダムの放水の写真で皆さんマイナスイオンを感じ取っていただけたでしょうか（山下ちず子）